

全国ネット通信

Japan Network for Climate Change Actions NEWSPAPER

Vol. 41
July 2023

Index

住宅の脱炭素化……………	2-3	賛助会員紹介……………	4	スタッフ紹介……………	6
うちエコ診断 WEB サービスの活用を…	3	全国ネット新体制始動！……………	5	櫻田彩子のミニコラム……………	6
熊本県センター紹介……………	4	うちエコ診断士 資格試験受験者募集…	5	脱炭素チャレンジカップエントリー募集！…	6

気候変動教育の推進に向けて

一般社団法人地球温暖化防止全国ネット
理事長 高田 研



高田理事長(左)と安家紀子校長(豊中市立新田小学校で)

今回ご紹介する豊中市立新田小学校^{しんてん}は、大阪北部、千里ニュータウンに隣接する学校で、児童数 858 名(2023 年 4 月)、近年の児童数減少の中であって結構大きな学校です。2009 年から市内の他校に先駆けてユネスコスクールに登録し、これまで学校をあげて ESD に取り組んできました。現在は SDGs の目標を 6 年間のカリキュラムの中に配分して位置づけ、授業実践を行っておられます。安家紀子校長は赴任後 9 年間、ESD を推進してこられました。

ESD は小学 1・2 年生の生活科に始まり、3 年生からは総合的な学習で集中的に取り組んでいます。2 年生は野菜を育てることから食の問題、そして食品ロスの問題に気づかせ、3 年生では“手前取り”という日常の消費行動から食品ロスの問題を掘り下げ、フー

ドマイレージから日本の食糧問題へと学びを広げていきます。4 年生は、食品ロスの学びを積み上げて給食残渣を減少させる取り組みを、5 年生は国際交流で、昨年は韓国の小学校とオンライン授業をされました。6 年生は、平和を含めた世界の課題の解決への子どもたちの提言(ESD フェス)と進み、カリキュラムを終えます。

その中で興味深かったのは、4 年生の 1 つのクラスが自分たちの食べた給食の牛乳パックがゴミとして焼却処分されていることを知り、その問題解決のために考えた収集システムを、プレゼンを制作して他のクラスへと運動を広げて行ったことです。このプレゼンは他学年にも広げられました。

また市の清掃局は、パッカー車を使った廃棄物教育を市内の全小学校で実施しているのですが、新田小学校のプレ

ゼン動画を持って回り、市内の他校で見せているということでした。牛乳パックのリサイクル運動という、どこの学校でも取り組んでいそうなテーマですが、重要なことは、その行為を学校や先生が強制するのではなく、子どもたちが自分たちの言葉で意見を伝え、主体的に取り組んでもらうプロセスを大事にしていることです。

これは、地域の問題を捉えて協力の輪を広げることで問題を解決していく“市民教育”としての ESD です。彼らはプラスチックストローの問題にも学びを広げていて、5 年生になった彼らの取り組みが期待されます。私の訪問目的は、このような先進的な学校において、まだ取り組まれていない気候変動のキーワードをこのカリキュラムの中に組み込んでもらい、教育実践の事例を作ってもらうことです。気候変動教育は、北海道センターが全国に呼びかけて勉強会を重ね、また日本環境教育学会では白井信雄先生を中心に、研究会を設置し実践プログラム作りを進めてきました。この動きと連携して、また事例の少ない小中学校での教育を具体化し、そこに地域センターが関与できる体制を進めていきたいと思っています。



牛乳パックのリサイクル方法を説明する 4 年生



牛乳パックの開き方を実演する児童

特集

住宅の脱炭素化 ～断熱から始めよう～

特別講演会

全国ネット（JNCCA）では、令和5年6月20日に東京大学大学院工学系研究科准教授の前真之先生を招き、「脱炭素」と「住まいの断熱性能」をテーマとした講演会を開催しました。脱炭素社会の構築に向けて省エネへの注目が高まる昨今、住宅の断熱化の重要性についてわかりやすく解説した前先生のご講演内容を抜粋してご紹介します。

<省エネ住宅に向かう3つのアプローチ>

健康・快適で電気代の心配がない豊かな暮らしを実現するためには、地域でエネルギーを循環させ、日本ではまだ実現できていない住宅の高性能化を普及することが、いま優先して取り組むべき課題といえます。その手法は既に確立されており、「断熱・気密」の向上、「高効率設備」の導入、「太陽光発電」の設置の3つです。

冬暖かく、夏涼しく、かつ電気代も安くなる。地域も活性化し、ひいては日本も元気になり、それが地球環境の未来を守ることにつながる。これこそが真の脱炭素社会といえるのではないのでしょうか。

POINT 断熱化が進まないことによる弊害

「暖房」と「採暖」？

多くの日本の住宅は、断熱・気密性能レベルが低いため、空間を温める「暖房」ではなく、体を直接温める「採暖」をしている家庭が多い状況です。ストーブなどでたくさんエネルギーを使っても、寒いままの家になっているかもしれません。

ヒートショック

ヒートショックで命を落とす方は、交通事故の死者数よりも多いのをご存知ですか。暖かいリビングから寒い浴室などに移動する際の寒暖差で、血圧の急変動が起こります。理想的な対策は断熱によって「家中いつでもどこでも18℃以上」にすることです。

POINT 先進事例 鳥取県 NE-ST・RE NE-ST

地域で住宅の独自基準を設置しているトップランナーとして、鳥取県の事例があります。断熱等級6～7レベルの基準を強く推奨し、さらに国の基準では明記されていない気密性能にも制限を設けています。このため、鳥取

NE-ST 認定住宅の部屋の中をサーモカメラで測定してみると、家中全ての場所が20℃ほどとなっており、理想的な室温であることがうかがえます。

2025年から断熱等級4が義務化されることによって、地域特性に合わせた独自基準を義務化することが可能となります。この基準策定にあたっては県職員の方の活躍による影響も大きく、今後、更にこうした断熱化を地域から働きかける動きが強まっていくものと考えられます。

義務化されると自治体が独自基準を制定できる！

某国交省の指令
(技術的助言)



省エネが義務化されている
大規模の非住宅は
独自に上位基準を義務化しても
まあいいでしょう
(どうせやるわけないけど・・・)



省エネが義務化されていない
住宅とかは
勝手に上位基準義務化とか
しちゃいけませんよ！
(フライングはダメ！)



2025年からは地域が断熱・省エネを推進する主役に！

断熱等級4の義務化の意義

断熱基準は地域ごとに定められていますが、寒冷な秋田県と温暖な鹿児島県とは差がつけられていません。国が断熱基準を設けたことにより、自治体による独自基準を作ることができるため、気候風土に適した住宅性能の普及を図ることが可能となります。

POINT 大事なバランスと解決すべき課題

住宅の脱炭素化で大事なことは、家の中の温度と電気代のバランスを取ることで、家の断熱・気密性能が不十分だと、快適な温度を保つために膨大な電力が必要になり、このバランスが崩れます。現代の日本における課題は、断熱性能が高い既存住宅がほとんどなく、バランスが取れた住宅に住んでいる人が少ないことです。



いいバランスをとるには建物の性能が重要

前先生に お話しいただきました

東京大学大学院工学系研究科 准教授 前 真之

学生時代より25年以上、住宅の省エネルギーを研究。健康・快適で電気代の心配がない生活を太陽エネルギーで実現するエコハウスの実現と普及のための要素技術と設計手法の開発に取り組まれています。

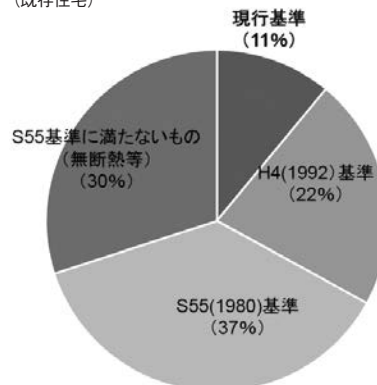


全国センターは断熱化の課題を調査

既存住宅は全国に約5,000万戸ありますが、現行の省エネ基準を満たすものは11%程度です。(※図注)脱炭素社会の実現には、既存住宅の断熱化を今以上に促進する必要があります。全国センターでは、住宅の断熱化を推進するため、地域センターの皆様が活用できる、効果的な手法を模索・検証しています。今後多くの知見を集め、地域から発信できる具体的な解決方法を探ってまいります。

【住宅ストック約5,000万戸の断熱性能】

(既存住宅)



出典：統計データ、事業者アンケート等により推計(平成30年)

※ここで、現行基準は、建築物省エネ法のH28省エネ基準(エネルギー消費性能基準)の断熱基準をさす(省エネ法のH11省エネ基準及びH25省エネ基準(建築主の判断基準)の断熱基準と同等の断熱性能)

地域センターの取組

<京都府センター>

府の委託事業として、断熱化する利点を訴求する資料を制作し、配布しています。地域の工務店やリフォーム業者などが活用し、住まいの相談に来られた人に断熱化の提案ができるツールとして好評です。



▲ついでに健康・快適リフォームのすすめ(京都府センター)

<広島県センター>

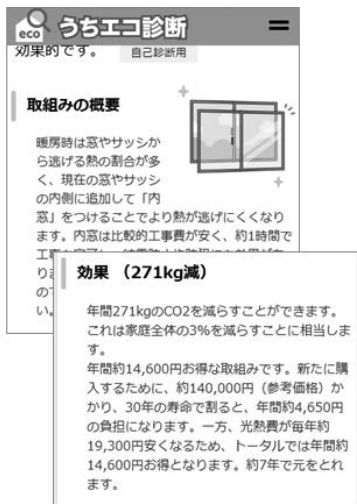
住宅業界団体と連携し、公共施設や学校での断熱ワークショップを計画しています。不特定多数の人が集まる施設を部分断熱することで、多くの人に断熱性能の違いを体感してもらうことが狙いです。

家の断熱リフォームの検討にうちエコ診断 WEB サービスの活用を!

住まいの断熱リフォームと聞くと、なかなかハードルが高いもの。しかも、どのくらいの効果があるのか、どのような種類があるのか調べるのは大変です。「うちエコ診断 WEB サービス」では、冷暖房の対策として断熱リフォームを紹介しています。

「家が暑い」「家が寒い」「結露やカビが発生する」といった家の気になる点やお悩みについておすすめの対策を知ることができます。

個々の対策では、取組み方法のほか、補助金や税優遇等も確認できます。まずは気軽にうちエコ診断 WEB サービスを使って、断熱リフォームの効果を見てください。



◀うちエコ診断 WEB サービス

月々の電気代や冷暖房の使用時間を入力して、住まいに応じた断熱リフォームを検討しよう!



◀うちエコ診断受診窓口

さらに詳しく知りたい人は、うちエコ診断士と対面またはオンラインで説明やアドバイスを受けることができます。

地域センター紹介

熊本県地球温暖化防止活動推進センター

熊本県地球温暖化防止活動推進センター（熊本県センター）は、2022年4月、NPO法人SDGs Association 熊本が県からの指定を受けました。同法人は、熊本地震の復興活動をきっかけに各方面で活躍する人々が集まって2020年に立ち上げ、教員、消防士、住職、保育園の副園長などの異なる経歴を持つ理事15名で構成しています。センター長の神田みゆきさんにお話を伺いました。

—センター指定1年目の活動はいかがでしたか。

分からないことも多く苦労の多い1年でした。印象に残った事業は、学生を対象とした「地球温暖化防止活動推進ジュニアリーダー養成講座」です。小中高生6名が全5回の講座を受け、自分で気候変動に関するテーマを設定してプレゼンテーションしました。まず初めに宇宙航空研究開発機構（JAXA）職員の方から話を聞き、その後各自でテーマを決めてプレゼンを作成し、発表しました。発表を動画に編集する作業は高校生の力を借りました。大人顔負けのプレゼンは、熊本市教育委員会主催のイベント「Kumamoto Education Week」で公開しました。



ジュニアリーダー養成講座に参加した6名

Kumamoto
Education WeekSDGs・ESD
情報サイト

—2年目の2023年度はどのような活動を予定していますか。

次世代育成と気候変動教育の体系化をテーマとして掲げています。私が非常勤講師をしている高校や、外部講師としてお邪魔した学校の生徒の中で、気候変動やSDGsをテーマとして学びを深めている生徒のサポートができればと考えています。また、興味・関心のある生徒を外部人材とも繋いでいきたいです。その中で、脱炭素チャレンジカップなどにも当てはまるテーマを探究している生徒などには積極的に声をかけていきたいと思っています。

—全国の地域センターさんにメッセージをお願いします。

私たちのセンターの強みは、あらゆる分野で活動をしている人たちとのネットワークを持っているところですが、熊本県センターとして全国で気候変動教育の最前線で取り組む皆さんとも積極的に交流していきたいと考えています。これまで、多くの素晴らしい活動をされている地域センターの皆さんに、ぜひ活動のアイデアやノウハウを教えていただきたいと思っています。



左から神田さん、理事の西田結美さん、熊野たまみさん

NEW

賛助会員

賛助会員は地球温暖化防止全国ネットの趣旨に賛同し、支援して下さる個人または団体の方々です。今回は、新しく仲間に加わってくださった2社からメッセージをいただきました。

株式会社アルビノ

(東京都練馬区)



事業内容 Webマーケティング支援、Webメディア運営

当社では、エアコンのフィルター清掃、運転時間の短縮、冷暖房設定温度の調整など、できる限りの節電を心がけ、光熱費・燃料費の低減に努めています。

大きなことはできませんが、太陽光発電などによる再生可能エネルギーの導入や、自動車排出ガスの低減、リサイクル用品の利用やグリーン購入などを実施していきます。

社会全体で脱炭素の意識が高まり、2050年のカーボンニュートラルが実現できることを期待しています。

株式会社ジャストイット

(京都府京都市)



事業内容 インターネット広告・メディア・コンサルティング事業など

弊社は脱炭素社会に向けて積極的な取り組みを行って参ります。省エネ意識を高め、出勤には公共交通機関や徒歩・自転車を推奨し、二酸化炭素排出の削減を目指します。

また、プラスチックごみ削減のため、事務所に浄水器やマグカップを設置し、タンブラー持参も奨励しています。森林保護には寄附を通じて貢献したいと考えています。

このような取り組みを通して、持続可能な未来に貢献できることを願っています。



全国ネット新体制始動！ 理事・監事のご紹介

2023年度の社員総会を終え、新たに理事・監事が就任しました。皆さまから一言ずつコメントをいただきました。



理事長 高田 研

山を越えて3期目にしてやっとスタートに辿り着いた気分です。全国ネット職員と共に走り出しました。



理事 福岡 真理子

(一社)あきた地球環境会議
理事兼事務局長

一緒に新たな気候変動対策を展開し、未来を描く組織を目指しましょう！引き続きよろしくお願致します。



理事 杉江 弘行

NPO 法人おつ環境フォーラム
副理事長

脱炭素社会に向けて、今後の地域センターのあり方や持続可能な活動について、ともに考え、ともに行動しましょう。よろしくお願いします。



理事 藤木 勇光

エネルギー系民間企業出身です。二期目ですが、毛色の違うところを活かしてお役に立てればと思っています。



新

理事 久保田 学

北海道環境パートナーシップオフィス
コーディネーター

「地域を豊かにする脱炭素」の実現に向けて気候コミュニケーション、気候変動教育を確立していきましょう。



新

理事 服部 乃利子

NPO 法人アースライフネットワーク
専務理事

全国センターと地域センターのネットワークを活かし、地域で脱炭素の風を吹かせていけるよう尽力していきます。



監事 瀬尾 隆史

(公社)日本環境教育フォーラム
シニアアドバイザー

2050年のカーボンニュートラル実現に向けて、目に見える具体的な成果を出していきましょう。



新

監事 白井 達也

NPO 法人わかやま環境ネットワーク
理事兼事務局長

今まで以上に全国ネットの取組について関わりを持つことで、理事・全国ネット職員のみならず地球温暖化防止活動に対する一層の学びと刺激を得られることをうれしく思います。



令和5年度（第10回）うちエコ診断士資格試験が始まります

「うちエコ診断士」の資格は、診断での活用はもちろんのこと、その知識を活かして企業・団体への省エネのアドバイス、講演などでも活用されています。脱炭素社会の実現や光熱費高騰で家庭の省エネに関心が高まっている中、うちエコ診断士の資格取得を普及しませんか。

令和5年度うちエコ診断士資格試験は2023年8月初旬～2024年2月下旬での開催を予定しています。昨年に引き続き、CBT試験での開催となりますので全国の主要都市で受験することが可能です。

資格試験に関する最新情報は右のQRコードからご確認ください。



〈最新情報〉
うちエコ診断士
資格試験



うちエコ診断士資格試験公式テキスト - 7月下旬 販売開始

うちエコ診断士資格試験公式テキスト「地球温暖化と家庭でできるeco」は、「基礎編」と「実践編」の2冊構成で7月下旬から販売を予定しています。

「基礎編」は、地球温暖化問題の基本的な背景から最新情報、温暖化対策に関する制度や家庭での効果的な対策を解説し、「実践編」は、うちエコ診断を実施するために必要な知識・技術を身につけることができる内容です。

なお、「基礎編」は、資格試験公式テキストとしてだけでなく、地球温暖化問題を学びたい方の自主学習、セミナーや勉強会のテキストとしても活用できる1冊です。





エコアナウンサー 櫻田彩子の

ミニコラム



櫻田彩子 Sakurada Ayako

Profile

エコアナウンサー。テレビ朝日「じゅん散歩ものコンシェルジュ」ナビゲーターほか、「脱炭素チャレンジカップ」の司会など。全国ネット賛助会員。

一人一人に大切なストーリーがある。あなたのこれまでの生き方や考えに、これからのあなたと未来のヒントがある。

私が拙著を書いて強く感じたことです。持続可能な未来を将来世代につなぐことが今を生きる私たちの使命なら、過去現在未来は一つながりの時間であることを意識すれば…未来はジブンゴト・ミンナゴトになります。

先日、SDGs ロゴデザイナーのヤコブ・トロールベックさんが来日講演で、アンケートをもとに作成しているというIDGsについて発表しました。

Inner Development Goals. 言うなれば「私たちの内面の発展目標」でしょうか。

Being	あり方
Thinking	考え方
Relating	関わり方
Collaborating	協働する
Acting	行動する



全国ネット職員と

という5つの項目を掲げています。話を聞いて私が感じたことは、「持続可能な未来を意識した一人一人の内面が耕されること、人と人がつながることがSDGs達成の近道でありその先へつながる」ということです。

その意味で、脱炭素のストーリーを模索し育てている地域・学校・企業・団体の皆さんはすでにIDGsの実践者です。間もなく脱炭素チャレンジカップのエントリー開始。活動に関わる一人一人の大切なストーリーが仲間と共に力を得て花開く時です。ご応募お待ちしております！

スタッフ紹介

事業グループ
小野 英樹

事業グループで中小企業（事業者）支援を中心に、ブロック会議や従事者研修、脱炭素チャレンジカップの事務局を担当しております。
(2022年4月入社)



あっという間に毎日が過ぎ、全国ネットで働きはじめてから2年目を迎えております。

前職は、都道府県等中小企業支援センターにて中小企業の経営者と接し、企業を支援してまいりました。また、旅行会社での経験も長く、もしかすると旅行相談の方が得意かもしれません。

趣味は、スキーです。今でも年間15日以上は滑っています。自宅もスキー場へ向かう高速道路の近くだから選んだほど、スキーが好きです。実は、この世界へ入るきっかけも降雪量の変化や滑走可能期間が短くなっていること、雪質の悪などを肌で感じ、気候変動対策の必要性を感じたからです。



まだまだ足りない事や、やりたい事、いろいろありますが、できるだけ地域センターの皆さんに寄り添った仕事をしていきますので、今後ともよろしく願いいたします。

環境大臣賞を掴むのはどこの団体か！？

「脱炭素チャレンジカップ2024」エントリー募集

— 温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指して —

脱炭素チャレンジカップでは、学校・自治体・NPO・企業などの多様な主体が展開している脱炭素を目的とした地球温暖化防止に関する地域活動について、書類審査、プレゼンテーション審査を行い、優れた取組を表彰している全国大会です。皆さまのエントリー、お待ちしております！！

TEAM
実績アリ
団体エントリー

【学生部門】【ジュニア・キッズ部門】
【企業・自治体部門】【市民部門】
書類審査→プレゼンテーション審査
→脱炭素チャレンジカップ2024当日

脱炭素な提案も/
- 発想求ム -
アイデア賞

地域大会を勝ち抜いた団体は、そのまま全国の舞台へ！開催のご相談お待ちしております！



開催概要

- ・会場とオンライン配信のハイブリッド開催
- ・日時：2024年2月6日（火）
- ・エントリー応募：8月1日（火）～9月29日（金）

エントリーシートのダウンロードはこちら



お問い合わせ先

脱炭素チャレンジカップ事務局（地球温暖化防止全国ネット）
小野・佐伯・井上 TEL：03-6273-7785
E-mail：zccc@zenkoku-net.org

編集後記

今号は住宅の断熱化をテーマにお届けしましたが、前先生のご講演を聞いた方もそうでない方も「断熱」への関心が高まったのではないのでしょうか。住宅の改修はお金のかかること。重い腰が上がらない方が多いなか、簡単に始められるのは窓の改修かも！と気持ちが動いたお話でした。環境分野のトップランナーとしてひた走る賛助会員のみなさまは、どんな性能の住宅にお住まいですか？

（事業グループ 井上 侑子）

地球温暖化防止全国ネット通信

第41号 2023年7月

【編集・発行】一般社団法人 地球温暖化防止全国ネット（JNCCA）
〒102-0074 東京都千代田区九段南3-9-12 九段ニッカナビル7階
TEL：03-6273-7785 <https://www.zenkoku-net.org/>



一般社団法人地球温暖化防止全国ネットの活動をサポートしてください！

年会費：個人会員10,000円
団体会員100,000円

